

コンテンツ管理改善コンサルティング

～増大するデータとファイルサーバの問題を解決～

企業における情報管理の現状 ～こんなことにお困りではありませんか？～

情報処理技術の進展に伴い、企業内の約8割を占めるとされるオフィス文書、メール、ウェブコンテンツ、動画等のデータボリュームが爆発的に増加しています。こうした中、各部門でファイルサーバが無秩序化し、情報管理が困難な状況にある企業が多く見られます。これらの企業では、情報の一元管理ができておらず、各部門が独自にサーバを構築する現状に起因する情報検索・活用の効率低下やムダなファイルサーバ増加などの問題が発生しています。



課題解決に向けたポイント ～ECMツール導入だけでなく、情報重要度に適したルール策定との両輪で検討～

ムダな情報とファイルサーバの削減、情報の重要度に合わせた最適化により、情報活用効率向上と管理コスト削減を目的とした、全社情報管理基盤の構築をめざします。

まずは、電子ファイルの棚卸しによる分析から、情報の重要度を考慮した運用・管理ルールを検討します。ツール導入のみを目的とせず、ルール策定とあわせて、最適なツールを選定・導入することで「情報活用」と「コスト削減」の2つの目標を実現します。ツールの選定・導入には、富士通総研の持つ豊富なツール選定ノウハウがお役に立ちます。



サービス概要および進め方

富士通総研では、課題解決の施策として以下を実施し、課題解決へのご支援いたします。

サービス概要

■ コンテンツ管理に関する規程の策定

重要情報の定義、責任者の明確化、保管・保存期限など、文書管理に関するルールを策定し、対象データの特定を容易にします。ムダなデータを洗い出し、ファイルサーバや保管コストの削減も目標に取り組みます。

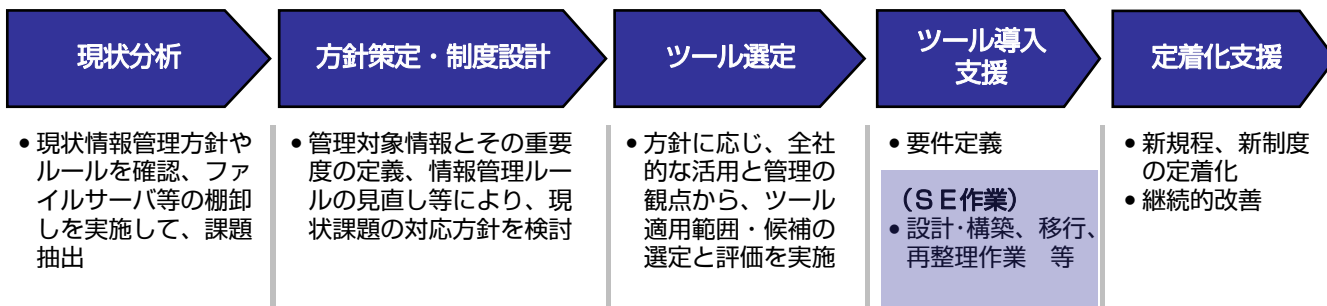
■ 「利用者+管理者」の視点でのECMツールの導入支援

各種申請書、電子メール、ウェブコンテンツ等のデータをセキュアな環境で一元的に管理するため、貴社に最適なツールの導入を支援します。

実施効果

- 電子データ総量の実質的な削減（ファイルサーバの削減）
- ファイル管理体系と運用ルール整備による、情報検索スピードの向上（業務生産性アップ）
- 将来的にも適正なボリューム管理が可能となる運用管理ルールの整備
- 遠隔地事業所間の情報共有・コラボレーションによる組織イノベーション・活性化

進め方



事例

① 電子文書管理規程の策定（総合商社、5ヶ月）

【課題】 全社文書管理システムの導入

【施策】 導入済み・試行フェーズにある電子文書管理システムの全社展開にあたり、フォルダ体系～運用ルールと利用ガイドラインを策定。また、定着化に向けた施策の計画を実施。

② ファイルサーバ内文書の棚卸し（エネルギー、3ヶ月）

【課題】 共有ファイル内電子文書の整理

【施策】 ファイルサーバの更改にあたり、全社ルールなく各部署に自由に使用させてきた共有ファイル、グループウェア内の電子文書の棚卸しを行い、整理・分類の上、今後の管理規程を策定。

概算費用

ご支援内容	作業期間	ご参考価格
方針策定・情報管理規程策定	2ヶ月	300万円より
ECMツール要件定義	2ヶ月	300万円より

このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2011年8月

お問い合わせ先

株式会社富士通総研

第二コンサルティング本部 コーポレート基盤事業部

〒105-0022 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝 サウスタワー11階 TEL:03-5401-8431

E-mail : fri-ecm-info@ml.jp.fujitsu.com